

令和7年名古屋港の港勢

1 入港船舶

入港隻数は27,772隻（前年比1.1%増）と前年実績を上回り、総トン数は2億1,589万トン（同0.2%増）と前年並みとなりました。

○ 外航船舶

入港隻数は7,273隻（同0.7%減）、総トン数は1億7,697万トン（同0.3%減）と前年並みでした。

全体の5割以上を占めるコンテナ船においては、入港隻数は3,739隻（同3.8%減）、総トン数は7,684万トン（同3.3%減）と前年実績を下回りました。

○ 内航船舶

入港隻数は20,499隻（同1.8%増）、総トン数が3,891万トン（同2.5%増）と前年実績を上回りました。

2 海上出入貨物

総取扱貨物量は、1億5,938万トン（同1.7%増）と前年実績を上回り、平成14年から24年連続で日本一になりました。

また、総取扱貨物量のうち外貿貨物取扱量については、1億1,255万トン（同1.4%増）と前年実績を上回り、平成12年から26年連続で日本一になりました。

○ 外貿貨物

輸出貨物量は、4,453万トン（同2.3%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種には完成自動車、自動車部品、産業機械といったこの地方で生産される代表的な品種が挙げられ、特に完成自動車、自動車部品の上位2品種で全体の6割以上を占めています。

国・地域別では1位がアメリカで491万トン、以下2位中国473万トン、3位オーストラリア298万トン、4位アラブ首長国280万トン、5位タイ239万トンです。

輸入貨物量は、6,802万トン（同0.8%増）と前年並みとなりました。取扱貨物の上位品種にはLNG（液化天然ガス）、鉄鉱石、原油、石炭といった天然資源で、全体の5割以上を占めています。国・地域別では、1位が中国で1,431万トン、以下2位オーストラリア1,354万トン、3位アメリカ667万トン、4位サウジアラビア383万トン、5位マレーシア363万トンです。

○ 内貿貨物

移出貨物量は 2,348 万トン（同 4.3%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種を完成自動車、鉄鋼、重油、その他の石油、揮発油が占めました。

移入貨物量は 2,334 万トン（同 0.7%増）と前年並みでした。取扱貨物の上位品種を完成自動車、鋼材、揮発油、セメント、化学薬品が占めました。

○ 外貿コンテナ貨物

外貿コンテナ貨物量は、4,672 万トン（同 1.8%増）、コンテナ個数は 264 万 TEU（同 1.9%増）と前年実績を上回りました。

輸出入別で見ると、輸出は 2,294 万トン（同 0.3%増）と前年並み、輸入は 2,378 万トン（同 3.3%増）と前年実績を上回りました。

品種別では、輸出は自動車部品、完成自動車、産業機械、その他化学工業品、ゴム製品が上位を占め、輸入は衣服・身廻品・はきもの、自動車部品、その他化学工業品、電気機械、輸送用容器が上位を占めました。

国・地域別では、輸出は 1 位が中国で 403 万トン、以下 2 位アメリカ 371 万トン、3 位タイ 166 万トン、4 位アラブ首長国 120 万トン、5 位ベトナム 99 万トンです。輸入は 1 位が中国で 1,058 万トン、以下 2 位ベトナム 202 万トン、3 位タイ 153 万トン、4 位アメリカ 143 万トン、5 位インドネシア 107 万トンです。